

被服製図表現上の調査 (第2報)

——作図中に示す表示記号について——

中 里 喜 子

(昭和58年9月26日受理)

Investigation on the Indication of Clothes Drawing (Part 2)

——Indication Mark in the Drawing——

Yoshiko NAKAZATO

(Received September 26, 1983)

I はじめに

第1報にて述べたような主旨によって、第2報では作図中に示されている表示記号について調査し、分析を行ったので報告する。

II 調査方法

第1報にて記述した通りである。

III 調査結果

1 寸法単位の記入方法

(1) 寸法線・寸法補助線

表示記号は29種類にわたって作図中に使用されている。婦人・子ども服は、表1の上段から1・2・3段のように機械製図のJISでは使用されていない方法が51.1%を占めている。男子服では、数字とアルファベットの記号に合わせて説明を読みとる方法が62.9%を占めている。これも機械製図には使用されていない独特の方法である。

(2) 引出し線

斜の線を引き出してポケットなどと説明が書かれているものが1位で44.4%、矢印になっているものが2位で29.6%、ぬりつぶされた矢印が3位で18.5%、そでぐりなどの説明の下に線を続けて引いているものが1例、引出し線の使用なしが1例であった。男子服では、なしが100%である。つまり引出し線を引出して説明がなされている例は見当らない。(表2)

2 作図中に示す表示記号

a. ハッチング

婦人・子ども服では45°の傾きで細い線が引かれている例が、69.6%で1位。ハッチング使用なしが17.4%で2位。30°・45°の傾きで細い線が引かれている例が8.7%で3位。60°・45°の傾きで細い線が引かれている例が4.3%で4位である。

男子服では、ハッチング使用なしが70.7%で1位。45°の傾きで細い線が引かれている例が12.2%で2位。60°・45°の傾きが7.3%で3位。40°の傾きが4.9%で4位。以下表3の通りである。

b. 等分線

表示記号が26種類にわたり、婦人・子ども服にその多様さが目立つ。男子服においては、その使用は2種類であり、等分線を全く使用しないものが95.0%であった。

(表4)

c. 角度

婦人・子ども服における表示記号は5種類であり、その使用は1例ずつである。この表示は使用されていない場合が多い。男子服においては、角度の表示は100%使用なしであった。(表5)

d. 直角

この表示記号は、婦人・子ども服で4種類。男子服では1種類である。婦人・子ども服では直角に平行して細い線で「かぎ」を描いたものが54.5%で多く、直角の表示なしが27.3%あった。次は2本線で1/4円を描いたものである。男子服では直角の表示は97.5%なしであった。

表1 寸法線・寸法補助線

表示記号	婦人・子ども服			男子服			表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位		数	%	順位	数	%	順位
	19	20.7	1					1	1.1	15			
	16	17.4	2	1	1.6	7		1	1.1	15			
	12	13.0	3					1	1.1	15			
	9	9.8	4					1	1.1	15			
	7	7.6	5					1	1.1	15	1	1.6	7
	5	5.4	6								39	62.9	1
	4	4.3	7								5	8.1	2
	2	2.2	8								5	8.1	2
	2	2.2	8								2	3.2	5
	2	2.2	8								2	3.2	5
	2	2.2	8								1	1.6	7
	2	2.2	8								1	1.6	7
	2	2.2	8	3	4.8	4					1	1.6	7
	2	2.2	8								1	1.6	7
	1	1.1	15				計(延数)	92			62		

表2 引出し線

表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
ポケット	12	44.4	1			
見返し線	8	29.6	2			
縫い止まり	5	18.5	3			
そでぐり	1	3.7	4			
なし	1	3.7	4	40	100	1
計(延数)	27			40		

被服製図表現上の調査 (第2報)

表3 ハッチング



表示記号	婦人・子ども服			男子服			婦人・男子平均		
	数	%	順位	数	%	順位	数	%	順位
 傾き45° 細い線	16	69.6	1	5	12.2	2	21	32.8	2
傾き60°, 45° 細い線	1	4.3	4	3	7.3	3	4	6.3	3
傾き30°, 45° 細い線	2	8.7	3				2	3.1	4
傾き40° 細い線				2	4.9	4	2	3.1	4
傾き20° 細い線				1	2.4	5	1	1.6	6
				1	2.4	5	1	1.6	6
なし	4	17.4	2	29	70.7	1	33	51.6	1
計(延数)	23			41			64		

表4 等分線


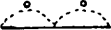
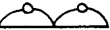
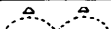


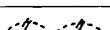



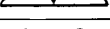
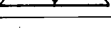
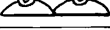
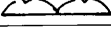
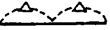


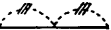

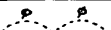

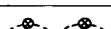
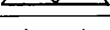
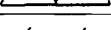
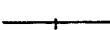

表示記号	婦人・子ども服			男子服			表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位		数	%	順位	数	%	順位
	2	15.5	1	1	2.5	2		1	1.3	15			
	8	10.4	2					1	1.3	15			
	7	9.1	3					1	1.3	15			
	6	7.8	4					1	1.3	15			
	5	6.5	5					1	1.3	15			
	5	6.5	5					1	1.3	15			
	4	5.2	7					1	1.3	15			
	4	5.2	7					1	1.3	15			
	3	3.9	9					1	1.3	15			
	2	2.6	10	1	2.5	2		1	1.3	15			
	2	2.6	10					1	1.3	15			
	2	2.6	10					1	1.3	15			
	2	2.6	10				なし				38	95.0	1
	2	2.6	10				計(延数)	77			40		

表5 角 度

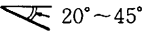

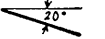






表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
 20°~45°	1	4.5	2			
 5°	1	4.5	2			
 20°	1	4.5	2			
 x°	1	4.5	2			
 x°	1	4.5	2			
な し	17	77.3	1	40	100	1
計 (延数)	22			40		

表7 地 の 目

表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
 太い線	7	35.0	1			
 太い線	4	20.0	2			
 中間	4	20.0	2			
 中間	2	10.0	5			
な し	3	15.0	4	40	100	1
計 (延数)	20			40		

(表6)

e. 地の目

婦人・子ども服の地の目の表示記号は4種類におよび、太い線で矢印のもの35.0%。太い線でうめた矢印のもの20.0%。中間の太さの線でうめた矢印のもの20.0%という状態であるが、男子服の場合は地の目の表示は100%なしであった。(表7)

f. ダーツ

表示記号は16種類。そのうち婦人・子ども服は8種類。男子服は12種類の方法を使用している。統一のない中に、それぞれの工夫が見られる。(表8)

g. たたんで切り開く

たたんで切り開くという操作は、婦人服にだけ問題になることである。その表示記号は11種類におよび、それぞれの工夫がみられる。(表9)

h. 芯地

表示記号は7種類におよび、男子服では芯地の表示は見られない。(表10)

i. のぼす

表示記号は4種類であり、婦人・子ども服のみに使用され、男子服では使用例をみない。(表11)

j. 追込む

表示記号は1種類。婦人・子ども服は25.0%の使用であり、男子服では使用例を見ない。(表12)

k. いせる

表示記号は10種類。その中で、婦人・子ども服は9種類におよび、男子服では92.5%が使用していない。(表13)

表6 直 角





表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
 細い線	12	54.5	1			
	2	9.1	3			
	1	4.5	4	1	2.5	2
 太い線	1	4.5	4			
な し	6	27.3	2	39	97.5	1
計 (延数)	22			40		

表8 ダーツ

表9 たたんで切り開く

表示記号	婦人・子ども服			男子服			婦人・男子平均		
	数	%	順位	数	%	順位	数	%	順位
	15	31.9	1	6	9.5	4	21	19.1	1
				16	25.4	1	16	14.5	2
				14	22.2	2	14	12.7	3
	8	17.0	3	2	3.2	7	10	9.1	4
	7	14.9	4	2	3.2	7	9	8.2	5
	4	8.5	5	5	7.9	5	9	8.2	5
	9	19.1	2				9	8.2	5
				9	14.3	3	9	8.2	5
				4	6.3	6	4	3.6	9
	2	4.3	6				2	1.8	10
				2	3.2	7	2	1.8	10
	1	2.1	7				1	0.9	12
	1	2.1	7				1	0.9	12
				1	1.6	10	1	0.9	12
				1	1.6	10	1	0.9	12
				1	1.6	10	1	0.9	12
計 (延数)	47			63			110		

表示記号	婦人服		
	数	%	順位
	3	12.0	2
	3	12.0	2
	2	8.0	4
	2	8.0	4
	2	8.0	4
	1	4.0	5
	1	4.0	5
	1	4.0	5
	1	4.0	5
	1	4.0	5
	1	4.0	5
なし	7	28.0	1
計 (延数)	25		

表12 追 込 む


表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
	5	25.0	2			
な し	15	75.0	1	40	100	1
計 (延数)	20			40		

表10 芯 地



表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	3	15.0	2			
心布	2	10.0	3			
芯	2	10.0	3			
	1	5.0	5			
心	1	5.0	5			
-----細い線	1	5.0	5			
- - - - -太い線	1	5.0	5			
な し	9	45.0	1	40	100	1
計 (延数)	20			40		

表13 い せ る



表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
	7	31.8	1	2	5.0	2
いせる	3	13.6	2			
0.5いせこみ	2	9.1	4			
いせ込む	2	9.1	4			
たまったしわをいせこむ	1	4.5	6			
いせこみ	1	4.5	6			
いせこみ	1	4.5	6			
いせこみ	1	4.5	6			
よくいせる	1	4.5	6			
				1	2.5	3
な し	3	13.6	2	37	92.5	1
計 (延数)	22			40		

表11 の ば す


表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	3	15.0	2			
伸ばす	2	10.0	3			
のばす	2	10.0	3			
のばす	1	5.0	5			
な し	12	60.0	1	40	100	1
計 (延数)	20			40		

表14 線の交差

表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	6	27.3	2			
	2	9.1	3	7	14.3	2
	1	4.5	4			
	1	4.5	4			
40 48	1	4.5	4	25	51.0	1
	1	4.5	4	6	12.2	4
				2	4.1	5
				1	2.0	6
2 cm 重ねる				1	2.0	6
なし	10	45.5	1	7	14.3	2
計 (延数)	22			49		

表15 型紙を続けて裁つ

表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	6	30.0	2			
後に続ける	1	5.0	3			
なし	13	65.0	1	40	100	1
計 (延数)	20			40		

表16 片ひだ

表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	2	9.5	2			
	2	9.5	2			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
	1	4.8	4			
				1	2.5	2
なし	11	52.4	1	39	97.5	1
計 (延数)	21			40		

表17 箱 ひ だ

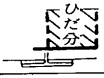






表示記号	婦人・子ども服			男 子 服		
	数	%	順位	数	%	順位
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
	1	5.0	2			
な し	13	65.0	1	40	100	1
計 (延数)	20			40		

表18 タ ッ ク


























表示記号	婦人・子ども服		
	数	%	順位
	7	33.3	1
	3	14.3	3
H タック幅 1.5	1	4.8	4
	1	4.8	4
	1	4.8	4
	1	4.8	4
	1	4.8	4
	1	4.8	4
な し	5	23.8	2
計 (延数)	21		

表19 バスト・ポイント

表示記号	婦人服		
	数	%	順位
× B.P.	6	27.3	1
×	5	22.7	3
B.P.	4	18.2	4
*	1	4.5	5
な し	6	27.3	1
計 (延数)	22		

表20 ボタン穴の位置

表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位
	5	21.7	1	7	17.1	2
	5	21.7	1			
	2	8.7	3			
	2	8.7	3			
	1	4.3	5			
	1	4.3	5			
	1	4.3	5			
	1	4.3	5			
	1	4.3	5			
				7	17.1	2
				6	14.6	4
				4	9.8	5
				3	7.3	6
				1	2.4	7
				1	2.4	7
				1	2.4	7
				1	2.4	7
				1	2.4	7
なし	4	17.4	2	9	22.0	1
計 (延数)	23			41		

1. 線の交差

表示記号は9種類. その中で, 婦人・子ども服は6種類である. 男子服も6種類にわたっているが, その使われ方の傾向に違いがみられる. (表14)

m. 型紙を続けて裁つ

表示記号は2種類・それも婦人・子ども服の場合であり, 男子服には100%使用例が見られなかった. (表15)

n. 片ひだ

表示記号は9種類であり, その中で, 婦人・子ども服は8種類使用され, 男子服は1種類の使用例をみるのみで, 97.5%使用されていなかった. (表16)

o. 箱ひだ

表示記号は7種類であり, 男子服では100%使用例が見られなかった. 婦人・子ども服の7種類の表示記号は, それぞれ1例ずつ使用され, 流儀によって, 工夫されている状態がよくわかる. (表17)

p. タック

婦人・子ども服において, 8種類の使用例を見た. それぞれの工夫がなされている. (表18)

q. パスト・ポイント

婦人服において使用される表示記号である. 4種類の表示記号が使われていた. (表19)

r. ボタン穴の位置

表示記号が完全に婦人・子ども服と男子服にわかれたことは, これら服装の発達の歴史を異にし, 製作・教育の上で交流が少なかったことの現われと考えられ, 興味深いものがある. (表20)

s. 飾りボタンの位置

表示記号は20種類にわたり, 男子服は16種類, 婦人・子ども服は8種類の使用状況である. (表21)

IV 結 び

1 婦人・子ども服, 男子服など服装のとり入れ方, 技術の発達の歴史の一部と特色を, これら表示記号を調査することにより, 推察することができた.

2 使用例の多い表示記号に, 合理性を見出すことができるが, 一方使用例は少なくても, よく工夫されたものもあった.

3 表示記号の解釈の仕方を, 教育の中で時間をかけて行っているが, 標準化することにより, 機械・建築製図と共通の解釈で, 国際的にみても多くの人が, 理解できるという実証を得ながら, この報告をまとめた.

表 21 飾りボタンの位置

表示記号	婦人・子ども服			男子服			表示記号	婦人・子ども服			男子服		
	数	%	順位	数	%	順位		数	%	順位	数	%	順位
○	6	26.1	1	4	8.5	4	⊕				2	4.3	6
⊕	4	17.4	3				⊖				1	2.1	8
⊖	2	8.7	4	1	2.1	8	⊗				1	2.1	8
⊗	2	8.7	4				⊙				1	2.1	8
⊙	1	4.3	6				⊚				1	2.1	8
⊚	1	4.3	6	1	2.1	8	⊛				1	2.1	8
⊛	1	4.3	6				*				1	2.1	8
*	1	4.3	6	3	6.4	5	⊜				1	2.1	8
⊜				6	12.8	2	○				1	2.1	8
○				5	10.6	3	なし	5	21.7	2	15	31.9	1
+				2	4.3	6	計(延数)	23			47		

V 参考文献

- 1) 清家 正：製図通則 JIS Z 8302 (1952)
- 2) 吉田 元：被服製図通則 JIS L 0203 (1978)
- 3) 吉田 元：衣生活研究 2, 3・4 (1975)

本調査研究は、昭和49年6月、日本家政学会関東支部例会にて口頭発表を行った。